

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

短歌

末武 有二 選

ほつほつと垣根の山茶花咲き初むる千両の朱
 黄も彩ふ庭 安永 守住 孝子
 希望した就職に孫生き生きと向き合う姿勢頼
 もしくみる 安永 川野 光子
 在りし日に亡夫植えたる山茶花の約束のごと
 庭辺を飾る 安永 山下たか子
 大みそか氏神様にお参りしお礼を申し新年を
 待つ 惣領 島田 廣子
 寒くない強がりと言う高齢者朝日に向かい足
 取り早く 宮園 島 みつぎ
 匂い立つ金木犀の生け垣にむかご絡みて秋深
 みゆく 広崎 松原まゆみ
 母逝きて久しく途絶えし琴の音を懐かしく弾
 く一周忌の夜 木山 本田 龍子
 寒空の川辺に宿る水鳥は私の気配に群れて飛
 び立つ 広崎 日野ヒロ子
 思わずも遅くなりたる夕食はテイクアウトに
 レタスを添えて 赤井 鈴木 駒
 華やかに晴れ着をまとう親子連れ息災祝う今
 日の境内 赤井 増岡 伸禧
 友は逝きよわい九十のバースデー長寿祝いも
 終われば寂しい 木山 西田 正巳

俳句

河野 全平 選

「おかわり」と孫が差し出すおとそかな
 拝みます車いすから初日の出
 還りたるはやぶさまたも寒空へ
 冬山へ一步踏み出す山男
 ありがたや小春日和の布団干し
 冬枯れの野つら春呼ぶ鴨が翔ぶ
 苦笑いママも欲しがる千歳あめ
 施設から紅葉狩りする余生かな
 辻ヶ峰「遭難の古碑」初日射す
 一句鑑賞
 平凡を大切に生き去年今年

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠
 一合の爛酒わたしの守り神
 ふところ手コロナ横目に初詣
 干支は丑モ一吹き飛ばせコロナ菌
 『お題』 4車線
 4車線町発展の起爆剤
 中央新道暴走族は許さない
 二千年の眠りを覚ます4車線

※参考例

延伸の電車夢見る4車線

川柳のお題 「古代人」

益城の文化財
 町文化財保護委員会



益城町

企画展「刻のかけはし」を
 訪れて

今回は、令和2年11月から町交
 流情報センターミナテラスで開催さ
 れている、令和2年度企画展「刻の
 かけはし」をご紹介します。

この企画展には、平成28年熊本
 地震の復旧・復興に伴って町内で実
 施された発掘調査の出土品(土器、
 石器)や、地震で被災した社寺な
 どの修復過程で得られた資料、地
 域で大切に守られてきた文化財な
 ど、約60点が展示されています。

エントランスから入ると、正面に
 ある弥生時代の土器のひつぎ「甕
 棺」の大きさに圧倒されます。その
 横には、100年ぶりに里帰りし
 た同時代の謎の人形土器。その他、
 教科書でもおなじみ豊臣秀吉のお
 札の手紙など、わが町が誇る第1
 級の「宝物」を見ることが出来ます。

また、被災文化財「コーナー」では、
 木山神宮、皆乗寺、浄信寺、常楽